

発行日
2020年
2月

発行：社会福祉法人 朔風
札幌市中央区南 19 条西 8 丁目
TEL.011-533-3933
編集：朔風法人本部
発行責任者：森本 千尋

【新年のご挨拶】



理事長あいさつ

社会福祉法人 朔風 理事長 中山 慶治

札幌市手をつなぐ育成会を母体として誕生した『朔風』は、令和2年1月8目で18年目を迎えました。その間、保護者の皆様には多くのご支援とご協力を賜りましたことに、衷心より厚くお礼を申し上げます。

さて、過日のニュースによれば、40年後の2060年には、日本の人口は1億2千万人から8千万人近くまで減少し、特に15歳から64歳までの労働人口は、3千万人少なくなるそうです。介護障害福祉分野では慢性的な担い手不足が続いており、更に人手不足に拍車がかかることが懸念されます。また、65歳以上の高齢化率は4割にまで上昇すると報じられていました。この急速な高齢化の進みは、知的障がい福祉の領域においても同様であり、療育手帳交付数の1割は65歳以上といわれています。

「朔風」を立ち上げた目的の一つが「親なき後」対策です。加齢変化による特別な支援に対応するグループホームとして平成24年に「そら」、そして平成30年に「あおぞら」を開設し、法人一丸となって高齢対策に全力で取り組んでまいりました。

2ヵ所合わせて35の居室を作りましたが、やはりまだ足りません。当初の目標に掲げた50の居室の整備に向け、更に努力をしてまいります。

誰もが身近な地域で生活し、満足して人生を全うできるように「親身になって、親の身になって」必要な支援を創ろうという朔風の精神は、絶やすことなく引き継がれていかなければなりません。今年も、必要なサービスの拡大と充実に向け、邁進する所存です。

保護者の皆様の一層のご理解、ご支援ご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

(写真は、令和2年成人式・新年会にて)